

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	滝川市	滝川市	平成30年度	令和2年度	滝川市

I 地区の成果目標 (単位:経営体、%)

項 目			目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)
			1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
必須目標	①	付加価値額の拡大	2	2	2	0.0
			0			
選択目標	②	経営面積の拡大	2	2	2	100.0
			2			
	③	農産物の価値向上				
	④	単位面積当たり収量の増加				
	⑤	経営コストの縮減				
	⑥	農業経営の複合化				
	⑦	農業経営の法人化				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項 目		現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した資料名等
					1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
1		付加価値額の拡大(千円)		16,201	17,971	18,171	18,241	-139.0	決算報告書
		経営面積の拡大(a)		7,310	13,741	7,710	7,710	170.8	農地台帳
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)		7,710				
			生産コスト(円/10a)		7,993				
			経営コスト(円/10a)						
2		付加価値額の拡大(千円)		13,538	14,341	14,562	14,816	-222.0	決算報告書
		経営面積の拡大(a)		5,020	11,755	5,120	5,120	181.0	農地台帳
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)		5,120				
			生産コスト(円/10a)		5,201				
			経営コスト(円/10a)						

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

平成30年の農作物の作柄については、6月中旬からの天候不順により作物の生育が遅れたことや、その後の小雨の影響などから、畑作物の生育が不良となり、また、水稻についても生育のばらつき、遅れなどが続き、空知の作況指数は90と不良であった。 また、7月の大雨、9月の台風21号による強風や胆振東部地震の発生、10月の相次ぐ台風の接近など多くの自然災害も発生し、これら近年にはない異常気象等により農作物の品質低下や収量減少により付加価値額の拡大の目標(1年度目)が未達成となった。 目標年度である令和2年度には達成予定。

Ⅳ 人・農地プランの作成状況

(1) 作成した日 年 月 日

(2) 今後の見通し(未作成の場合)

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

Ⅰ及びⅡの「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「○年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 Ⅱの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

Ⅱの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。

(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

「参考」欄については、

販売価格＝主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。

生産コスト＝主な作物の10a当たり生産費を記入する。

経営コスト＝10a当たり農業経営費を記入する。

3 Ⅲの「達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)」欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合には、その要因を把握した上で達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により経営体ごとに未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

4 Ⅳの人・農地プランの作成状況については、事業実施時点で人・農地プランを作成していない地区の場合(第1の2の(2)に該当する場合)に記載する。